

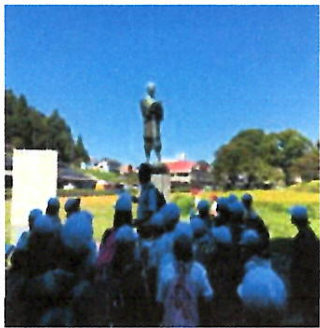


# 植柳の風

八代市立植柳小学校 校長室便り  
平成30年10月1日 NO. 108



ペーロン船 体験



通潤橋 布田保之助像



がめさんがやってきた

## 体験を通して学ぶこと

「いよいよ待ちに待った二日間の集団宿泊教室が始まります。どんな体験ができるか、期待に胸をときめかせていると思いますが、一つお願いがあります。先日、『ほっとはうす』の加藤たけ子さんたちが来校され、『水俣病から宝物を伝える』とお話をいただきましたね。これからみなさんは芦北・水俣に出かけます。ぜひ、今度は皆さんたちが、この二日間で、人権、環境、友情などいろいろな宝物を見つけることを期待しています。」

(9/26~27 5年生 集団宿泊体験学習出発式で)

「これから社会科見学旅行に出発する皆さんに三つのキーワードを紹介します。それは『これまで・これから・絆(きずな)』です。『これまで』というのは、過去の先人たちの苦労や知恵のこと。橋本勘五郎さんや布田保之助さんたちのことについて東陽石匠館や通潤橋でその目で確かめてきてください。『これから』は未来。熊本市の東部清掃工場で見学をしますが、ごみ問題は地球環境を考える上で大切なことです。そして、『絆』は、皆さんがより一層仲良くなってほしいという思いです。困ったときに助け合い、支え合い、励まし合う仲間になってください。この三つを合言葉とし楽しい見学旅行にしてください。」

(9/27 4年生 社会科見学旅行出発式で)

「こんにちは。『がめさんがやってきた!!プロジェクト』の水田と言います。音楽を担当していただく本田さんと二人で植柳小学校にやってきました。これから八代妙見祭のことについて〇×クイズを出したり、音楽に合わせてダンスを踊ったりする体験学習をしますから、楽しく学びながら、郷土の宝である八代妙見祭について勉強しましょう。」

(9/28 あすなる学級 がめさんがやってきた!!プロジェクト)

「がめさんがやってきた!!プロジェクト」のお二人が本校にされ、八代妙見祭の絵本の読み聞かせや〇×クイズをしたり、公式テーマソングの振り付けなどを踊ったりする体験学習を28日(金)に行った。このプロジェクトは、八代市合併10周年記念事業の一環として、八代妙見祭保存振興会が作成されたものだが、あすなる学級の子どもたちは、がめさんダンスを楽しく踊りながら、11月の学習成果発表会に向けての練習に取り掛かっていた。

國學院大學教授、文部科学省視学委員であり、総合的な学習の時間の研究分野で日本の第一人者である田村学先生は、体験学習の重要性について、次のようなことを述べられている。

「体験活動は、子どもたちが自分の身体を通して実際に経験する活動です。視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚など、諸感覚を働かせて対象に関わり、また対象から働き返されながら学んでいく活動です。人や社会、自然と関わる体験活動を通して、私たちらは様々な対象と関わるだけでなく、自分と向き合い、他者に共感することや社会の一員であることを実感します。また、自然の偉大さや美しさに出会い、文化芸術に触れ、社会事象への関心を高め、問題を発見したり、友達と信頼関係を築きながら物事を考えたり、喜びや充実感を実感する。だから、体験活動を通して、子どもたちが元気になるし、その姿が先生たちを元気にしてくれるのです。子どもも先生も元気にしてくれる、それが体験活動です。」